

株主通信

第119期

2019.4.1 ~ 2019.9.30

証券コード 7105

Logisnext

Logistical Equipment & System Solutions Next

三菱ロジスネクスト株式会社

シナジーを活かした、物流現場の「当たり前」となる新製品が誕生。

2019年11月、各社の強みを結集して誕生した、統合の象徴ともいえるバッテリー式フォークリフト「ALESIS(アレシス)」を発売しました。
旧4社が培ってきた技術を継承するとともに、デザイン力に優れたフィンランドのグループ会社、Rocla社と共同で、統合前から開発を進めてきました。
今後は、国内外それぞれの市場で、収益力の強化に努めます。

ALESIS

STANDARD of the NEXT

「時にパワフルに」、「時にスマートに」
モノを運ぶことにこだわりぬいた人を
ワクワクさせてくれる「当たり前」としての存在。
それが「ALESIS」です。



製品名(ALESIS)に
込めた想い

「ALESIS」という商品名は、ラテン語の「Ales(予言の鳥、易鳥)」が由来です。
「自由に、はばたく」という願いを込めています。



当社が誇る
バッテリーフォークリフトの
キーテクノロジー「SiCOS」を搭載

SiCOS
Super Intelligent Control System

「SiCOS(サイコス)」は車両全ての情報を一元管理・制御する、
多機能集中制御システムです。
1989年に旧日本輸送機が独自開発して以降、「ニチユバッテリー
フォークリフト」ブランドの製品に搭載されてきました。今回発売し
た「ALESIS」では、さらに洗練された「SiCOS」を搭載しています。

「誰もが乗りたがる」
オペレーターフレンドリーな製品設計



無理のない後進姿勢



状況に応じたモード選択で生産性向上



乗り降り時の安全性と快適性を向上



高い操作性と広視界

中期経営計画における「拡充・発展フェーズ」スタートの年として、さらなる成長戦略を展開していきます。

三菱ロジスネクスト株式会社として3年目を迎えた当期(2020年3月期)は、中期経営計画「Perfect Integration 2020」における「拡充・発展フェーズ」スタートの年として新戦略を展開しました。今後も統合シナジーの最大化と事業基盤の強化を進め「世界トップクラスの総合物流機器メーカー」を目指してまいります。



代表取締役社長
御子神 隆

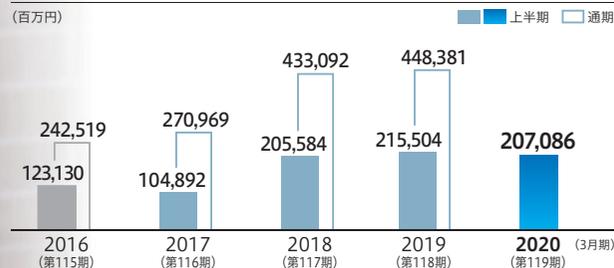
当上半期の市況と業績の総括

当 上半期における世界経済は、先行きの見えない米中貿易摩擦の影響に加えて、欧州のBrexitを巡る攻防や中近東の政情不安などの影響もあり、世界的に停滞感の強まりが顕著となりました。製造業を中心とする企業の設備投資マインドの冷え込みを背景に、これまでは概ね順調に拡大を続けてきた物流機器市場にもややかげりが見られるようになり、予断を許さない状況となっております。

こうした事業環境の中で、当社グループは全世界のお客様の物流ニーズに真摯にお応えすべく、国内外での提案活動に努めました。国内市場ではフォークリフト販売台数は減少したものの、その他の物流関連製品やサービスの売上が増加しました。一方、海外市場においては、米中貿易摩擦の影響を受け、米国・中国において売上が減少しました。

これらの結果、当上半期の当社グループ連結売上高は

売上高



■ 第115期はニチュ三菱フォークリフトのデータを掲載しています。

※1 2017年1月1日付でユニキャリアを完全子会社化したことに伴い、2017年3月期(第116期)1月～3月は、ニチュ三菱フォークリフトとユニキャリアを連結した数値を掲載しています。

2,070億8千6百万円(前年同期比3.9%減少)となりました。利益面につきましては、営業利益は50億9千2百万円(同16.0%増加)、経常利益は47億9千1百万円(同6.7%減少)、親会社株主に帰属する四半期純利益は20億9千4百万円(同17.7%減少)となりました。

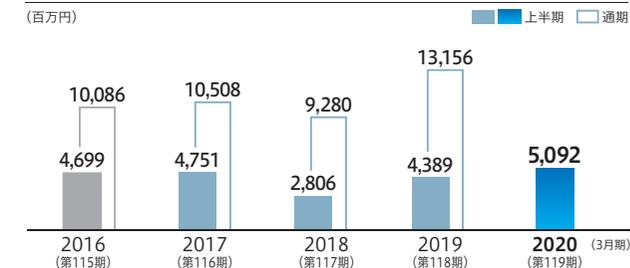
なお、のれん償却等の影響を除くと、営業利益は93億7千3百万円(前年同期は87億9千8百万円)となり、前年同期比6.5%の増益、営業利益率は4.5%となっております。

下半期の取り組みと今後の見通し

現 在推進中の中期経営計画「Perfect Integration 2020」では、前期(2018年度)までの2年間を「融合・構築フェーズ」とし、当期(2019年度)からは「拡充・発展フェーズ」と位置づけています。

中期経営計画のこれまでの2年間で成し遂げてきた様々

営業利益



事業別業績概況

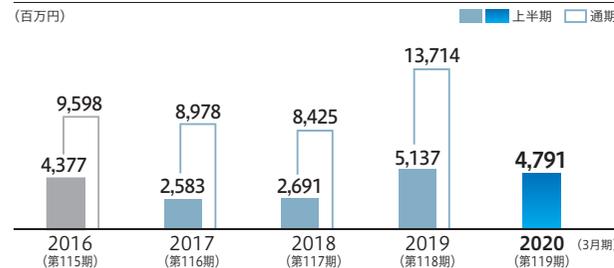
な成果を踏まえて、当期は事業規模のさらなる拡大に向け、本格的な成長戦略を展開していく方針です。すでに取り組みを開始しているAGV/AGF(無人搬送車/無人フォークリフト)の拡販や、開発機種統合によるシナジーの追求を引き続き進めると同時に、最重要市場である北米市場での販売力強化など、新たな戦略展開によって中長期視点での成長を目指してまいります。

新製品の開発では、バッテリー式フォークリフトの新型車「ALEXIS」を2019年11月に市場投入いたしました^{※2}。世界的に進む環境規制の強化を背景に、物流業界ではバッテリー式フォークリフトへのニーズが急増しており、統合以前から開発企画を進め、完成させたものです。

一方、北米市場における販売力強化についても、2019年7月1日に当社グループの連結子会社であるMitsubishi Logisnext Americas Inc.(MLNA)が、北米最大規模の物流機器販売代理店であるPon Material Handling NA, Inc.(新社名: Equipment Depot, Inc.)を全株式の取得により連結子会社化(孫会社化)しております^{※3}。

なお、全株式を取得したEquipment Depot, Inc.については、当社と被取得企業との四半期連結決算日の差異が3か月を超えないことから、貸借対照表のみを連結しているため、当第2四半期連結累計期間に係る四半期連結損益計算書

経常利益



■ 第115期はニチユ三菱フォークリフトのデータを掲載しています。

※1 2017年1月1日付でユニキャリアを完全子会社化したことに伴い、2017年3月期(第116期)1月～3月は、ニチユ三菱フォークリフトとユニキャリアを連結した数値を掲載しています。

に被取得企業の業績は含まれておりません。

当期の通期連結業績予想については、上述企業買収に伴い、のれん等償却額、統合費用、負債の利息費用、その他の金融費用を織り込んだことで期初発表を修正し、売上高4,900億円、営業利益140億円、経常利益130億円、親会社株主に帰属する当期純利益70億円を見込んでいます。

※2 詳細についてはP1をご参照ください。

※3 詳細についてはP4をご参照ください。

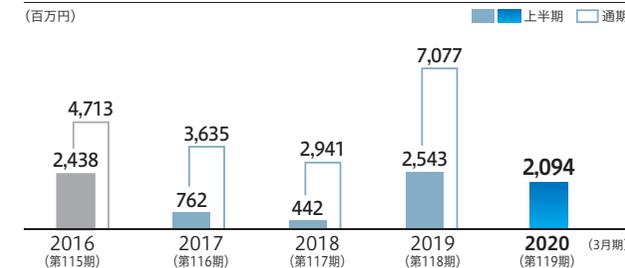
株主の皆様へのメッセージ

当 社はその期の収益状況に対応し、株主の皆様への配当の充実と企業基盤確立のための内部留保とのバランスに配慮した利益配分を行うことを基本としております。この方針に則り、当期の期末配当金については、1株当たり13円を予定しています。

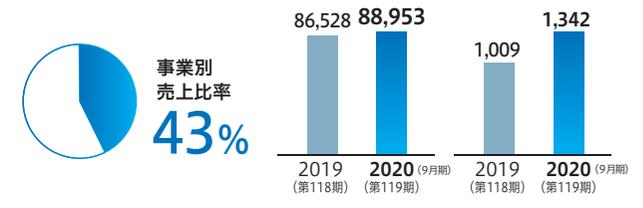
当社グループは、今後も統合シナジーの最大化を追求するとともに、事業基盤のさらなる強化に努めてまいります。技術開発力に関しても、2020年に完成予定の滋賀工場の実験施設に、新川崎事業所、滋賀工場、京都工場の実験施設を集約し、有人フォークリフトを基本としながらも、無人フォークリフトなど新技術に関する研究開発も進めていく方針です。

株主の皆様には、引き続き当社グループへの温かいご理解、ご支援を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

親会社株主に帰属する四半期純利益



国内事業



国内事業は、フォークリフト販売台数が減少したものの、その他の物流関連製品の増加及びサービス売上の増加により、売上高は889億5千3百万円(前年同期比2.8%増加)となりました。セグメント利益につきましては、売上の増収を受け、13億4千2百万円(同33.0%増加)となりました。

なお、のれん等償却の影響を除くと、セグメント利益は37億1百万円(同10.1%増加)となっております。

海外事業

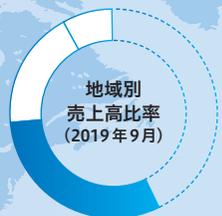


海外事業は、米中貿易摩擦の影響を受け米州及び中国において売上を減少させ、売上高は1,181億3千3百万円(前年同期比8.4%減少)となりました。セグメント利益につきましては、前年同期の資材費及び輸送費高騰等の影響を価格に転嫁できたことなどから、37億5千万円(同10.9%増加)となりました。

なお、のれん等償却の影響を除くと、セグメント利益は56億7千2百万円(同4.3%増加)となっております。

Equipment Depot, Inc.

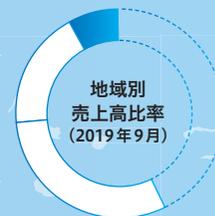
所在地：テキサス州
設立：2006年
連結売上高：486.4百万USドル(2018年度)



米州
30.7%



欧州
18.5%



アジア・中国
7.9%



米国最大規模の物流機器販売代理店を買収し、販売・サービスネットワークを強化

当社は、北米市場を最重要地域と位置づけています。この度、販売・サービスを強化するため、米国トップクラスの物流機器販売代理店である Pon Material Handling NA, Inc. を2019年7月1日付けで買収し、同時に Equipment Depot, Inc. (以下EQD社) に商号変更しました。

EQD社は、売上の約3割を収益性の高いレンタル事業が占め、安定的な収益基盤や充実した販売インフラを備えています。今回の買収により、米国での直販体制は従来の2.5倍にあたる10社に増加しました。

今後は北米市場において、顧客満足の向上に努め、確固たる業界ポジションを構築していきます。

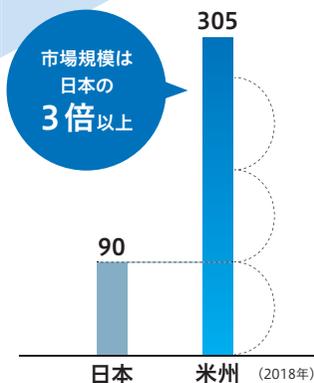


直販拠点の増加も追い風に、強固な顧客基盤形成を目指す

充実した販売網やメンテナンス力に定評があるEQD社。これまでの実績や、各地域における販売力、サービスの品質は、極めて高い水準を持っています。新たに加わったEQD社とともに、北米市場でのシェア拡大を目指します。

フォークリフト市場動向

販売台数(千台)



米州では、電子商取引(EC)の普及などを背景に物流機器の需要が伸長。

優れたUXデザインが評価され、2019年レッドドット・デザイン賞を受賞

欧州・アジア・中近東・アフリカ向け専用モデルの「Cat®ブランド電気式カウンターバランス型フォークリフト」が、国際的なプロダクトデザイン賞であるレッドドット・デザイン賞(Red Dot Award)を受賞。オペレーターの要望を徹底的に追求し実現した革新的な製品であり、その優れたUXデザインが高く評価されました。55カ国から応募された5,500点の製品の中から受賞しました。



製品の特長

- 旋回中の進行方向切り替えがステアリング操作のみで可能(オプション)⇒効率アップ
- 旋回時速度制限機能+操作の緩急に応じた車体制御機能⇒安全性アップ



reddot design award
winner 2019

2018年レッドドット・デザイン賞に引き続き、2019年IFOY賞を受賞



欧州・アジア・中近東・アフリカ向け専用モデルの電気式3輪カウンターバランス型フォークリフト「ユニキャリアTX3」が2019年4月26日ウィーンで開催された物流機器の国際的な賞であるIFOY賞※を受賞。先進的な人間工学設計など車両の革新性が評価されました。今回の受賞は2018年レッドドット・デザイン賞から引き続きの受賞となります。

製品の特長

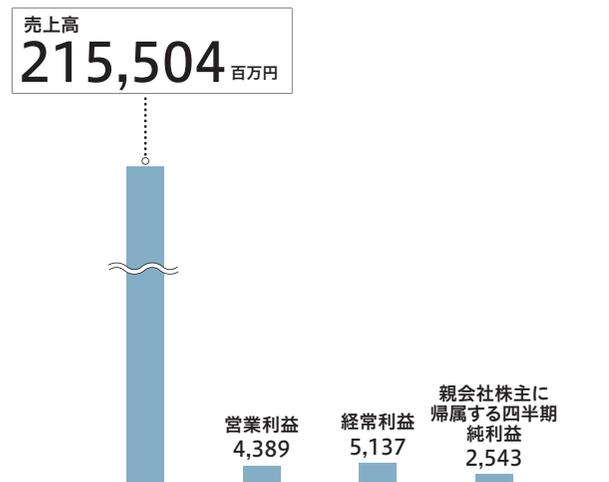
- クラストップの低電費
- 優れた視認性
- 人間工学に基づいた快適性の向上

※ The International Intralogistics and Forklift Truck of the Year カウンターバランス部門賞

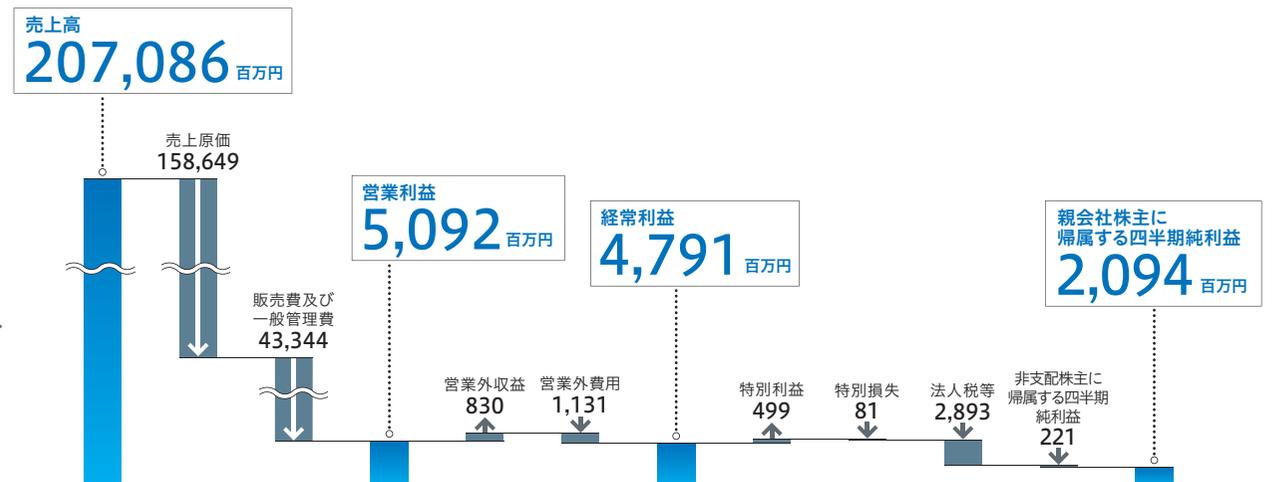
主要連結財務指標

連結損益計算書 (百万円)

前 第2四半期(累計) (2018年4月1日～2018年9月30日)

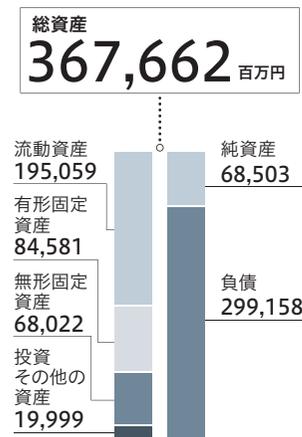


当 第2四半期(累計) (2019年4月1日～2019年9月30日)

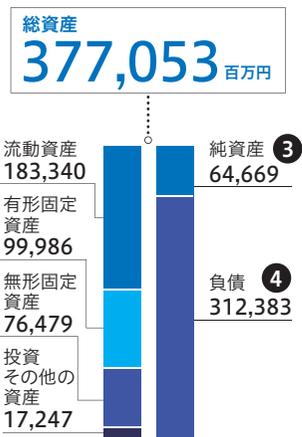


連結貸借対照表 (百万円)

前期末 (2019年3月31日)



当 第2四半期末 (2019年9月30日)

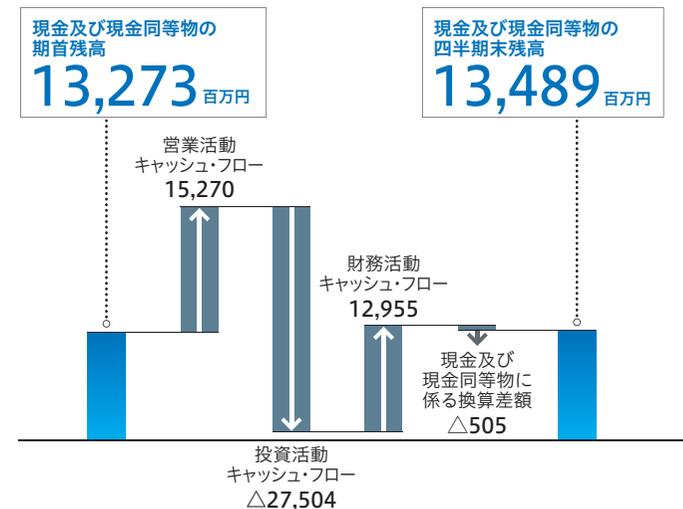


POINT

- ① 流動資産
その他に含まれる短期貸付金の減少等により11,718百万円減少しました。
- ② 固定資産
Equipment Depot, Inc.社の新規連結等により21,109百万円増加しました。
- ③ 純資産
為替換算調整勘定*の減少等により3,811百万円減少しました。
※ 在外子会社の貸借対照表項目への円貨換算手続で生じる調整額
- ④ 負債
借入金の増加等により13,225百万円増加しました。

連結キャッシュ・フロー計算書 (百万円)

当 第2四半期(累計) (2019年4月1日～2019年9月30日)



会社情報

会社概要 (2019年9月30日現在)

社名	三菱ロジスネクスト株式会社 (Mitsubishi Logisnext Co., Ltd.)
設立	昭和12年8月
資本金	4,898百万円
国内主要事業所	
本社・京都工場	〒617-8585 京都府長岡京市東神足2-1-1 TEL:075-951-7171 FAX:075-955-3797
滋賀工場	〒523-0013 滋賀県近江八幡市長光寺町578 TEL:0748-37-6700 FAX:0748-37-3259
安土工場	〒521-1334 滋賀県近江八幡市安土町西老蘇8-1 TEL:0748-46-5511 FAX:0748-46-6854
新川崎事業所	〒212-0031 神奈川県川崎市幸区新小倉1-2 TEL:044-330-9000
オンサイト 研修センター	〒345-0023 埼玉県北葛飾郡杉戸町大字本郷576 TEL:0480-37-2108 FAX:0480-33-8034

取締役及び監査役 (2019年9月30日現在)

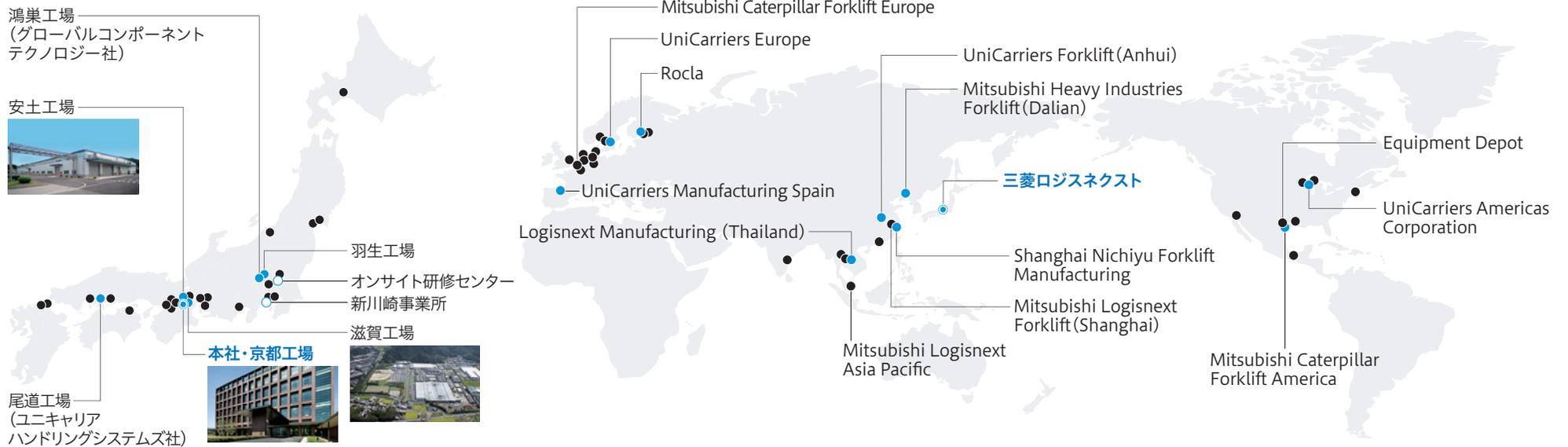
取締役会長	二ノ宮 秀明 (三菱重工フォークリフト&エンジン・ターボ ホールディングス(株) 取締役)
代表取締役社長	御子神 隆
取締役	各務 眞規
取締役	藤田 伸二
取締役	末松 正之 (三菱重工(株) 執行役員 グループ戦略推進室長 兼 戦略企画部長)
社外取締役	加藤 孝幸
社外取締役	大河内 健
常勤監査役	前嶋 弘
常勤監査役	馬場 浩司
社外監査役	倉垣 雅英 ((株)ジーエス・ユアサ コーポレーション 常務取締役)
社外監査役	福岡 靖之 (大日本塗料(株) 常勤監査役)
社外監査役	斉藤 卓美

会長、社長及び役付執行役員 (2019年9月30日現在)

会長	二ノ宮 秀明
社長 CEO	御子神 隆
副社長執行役員	各務 眞規
常務執行役員	新間 洋之
常務執行役員	渡邊 博一
上席執行役員	新家 雅隆
上席執行役員	間野 裕一
上席執行役員	大野 雅宏
上席執行役員	Ken Barina
上席執行役員	市原 信二
上席執行役員	藤田 伸二
上席執行役員	久保 隆

ネットワーク (2019年9月30日現在)

● 生産拠点 ● 主要販売拠点



株式の状況

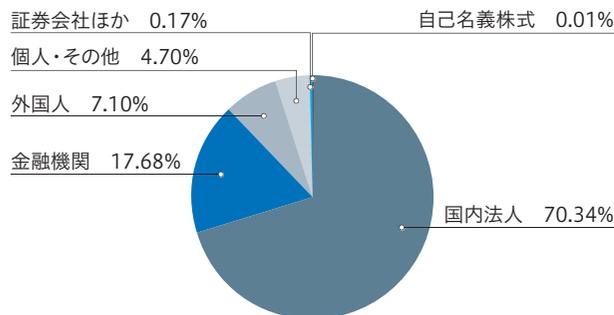
発行可能株式総数	普通株式	392,725,256株
	A種種類株式	32,274,744株
発行済株式総数	普通株式	106,503,013株
	A種種類株式	—
株主数	普通株式	4,639名

大株主(普通株式)

株主名	持株数(千株)	持株比率
三菱重工フォークリフト&エンジン・ターボホールディングス株式会社	68,888	64.69%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	4,810	4.52%
株式会社GSユアサ	4,701	4.41%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	3,935	3.70%
明治安田生命保険相互会社	2,765	2.60%
GOVERNMENT OF NORWAY	1,747	1.64%
株式会社三菱UFJ銀行	1,363	1.28%
株式会社京都銀行	1,301	1.22%
東京海上日動火災保険株式会社	1,122	1.05%
株式会社滋賀銀行	941	0.88%

※ 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

所有者別株式分布状況(普通株式)



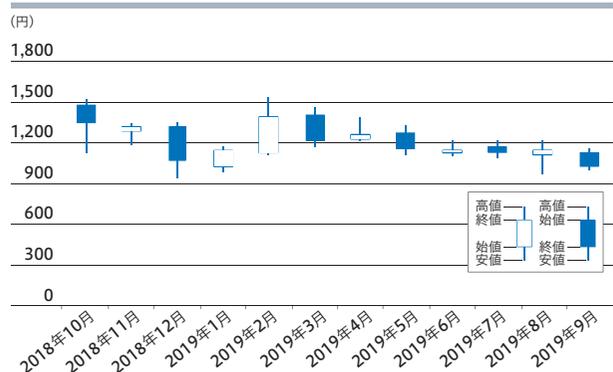
株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金 受領株主確定日	3月31日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL 0120-094-777(通話料無料)
特別口座の 口座管理機関	三井住友信託銀行株式会社
同連絡先	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 TEL 0120-782-031(通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所市場第一部
単元株式数	100株
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL http://www.pronexus.co.jp/koukoku/7105/7105.html (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。)

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取・買増請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に登録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三井住友信託銀行が口座管理機関となっておりますので、三井住友信託銀行にお問合せください。株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行ではお手続きできませんのでご注意ください。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

株価の推移



株主優待制度

株主の皆様の日頃からのご支援に感謝するとともに、当社株式への投資の魅力を高め、より多くの方々に長期にわたり当社株式を保有していただくため、株主優待制度を導入しています。

対象となる株主様: 毎年3月31日現在の株主名簿に記載または記録された、当社普通株式100株(1単元)以上を保有される株主様。

優待内容:

継続保有期間	配布内容
2年未満	QUOカード1,000円分
2年以上	QUOカード2,000円分

その他: 株主優待の詳細は、当社HPをご覧ください。

贈呈時期: 優待品は毎年、定時株主総会終了後の6月下旬にお送りする「定時株主総会決議ご通知」とともに発送いたします。

次回発行分に関するお知らせ

次回発行分(119期期末)より、期末株主通信の発行は行わないことといたしました。当社の業績・Topicsなどは招集通知および当社HPをご参照ください。



企業サイト TOP
<https://www.logisnext.com/>



株主・投資家情報
<https://www.logisnext.com/investor/>

三菱ロジスネクスト株式会社

〒617-8585 京都府長岡京市東神足2丁目1番1号
TEL 075-951-7171
FAX 075-955-3797

